

2026（令和8）年度事業計画

2026（令和8）年4月1日から2027（令和9）年3月31日まで

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会の2026年度事業を計画するため、下記の目標を設定する。

第1 目標

1. 本会の健全な発展及び社会的責務遂行のための業務の指導及び進歩改善を図る
2. 安全で住みよいまちづくりを目指し、建築士事務所の役割を広く県民へ周知を図る
3. 建築士事務所の業務の適正な運営及び設計等を委託する建築主の利益の保護を図る
4. 建築士事務所の公益性及び専門的技術を生かした事業を推進し、建築文化の向上及び公共の福祉の増進に寄与することを目指す
5. 設計・工事監理等の業の更なる確立のため建築士事務所の全加入を目指す

第2 本年度重点施策

1. 本会と支部が連携した会員増強活動の推進
2. 本会財務状況健全化に向けた各種事業等の再構築
3. 「神奈川スタイル」の推進と未来に継げる事業推進のための組織の強化
4. 魅力ある会となるための会員サービスの充実および強化
5. 会員等への関連法令遵守の周知徹底と消費者への啓発、普及
6. 本会事業の充実
7. 設立50周年記念事業の実施
8. 事務局の移転

第3 事業計画

1. 本会と支部が連携した会員増強活動の推進
 - (1) 会員数800名以上の目標を達成するための会員増強意識の徹底
 - (2) 新規登録事務所及び未加入事務所への加入促進の強化
 - (3) あらゆる機会をとらえた加入促進の強化
2. 本会財務状況健全化に向けた各種事業等の再構築
 - (1) 現状の課題を把握し将来の財務状況を予測したうえで事業等の再構築を目指す
 - (2) メリハリのある予算の執行および手続きの遵守
 - (3) 社会情勢の変化に対応した収益事業等の充実および効率化
 - (4) コンパクトに利益を生むための活動内容とコストパフォーマンスの追求
3. 「神奈川スタイル」の推進と未来に継げる事業推進のための組織の強化
 - (1) 本会と支部が連携した活動の推進
 - (2) 本会と支部の素早い情報伝達及び情報共有の徹底

- (3) ブロック間が連携した会員支援業務の強化
- (4) 本会の事業継続計画の着実な取り組みの強化
- (5) 本会の情報発信の強化
- (6) 組織の柔軟な運営
- (7) 会員の親睦交流を図る各種行事等の実施および福利厚生事業の充実
- (8) 青年部活動の推進および運営の強化

4. 魅力ある会となるための会員サービスの充実および強化

- (1) 会員事務所の安定経営に向けた事業の推進
- (2) 会員サポートセンターコンテンツの充実

5. 会員等への建築関連法令遵守の周知徹底と消費者への啓発、普及

- (1) 的確な講習会の実施
- (2) 支部講習会の実施

6. 本会事業の充実

- (1) 仕事展など各種支部事業への支援の強化
- (2) 「住・緑・家」コンペ及び「マンション等大規模修繕業務」等会員向け支援事業の推進
- (3) 建築士事務所の質的向上に関する調査研究及び各種研修会並びに講習会の実施
- (4) 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会活動への協力
- (5) 近隣単位会との連携強化（関東甲信越ブロック協議会・首都圏連絡会議）
- (6) 建築士事務所指定登録機関としての業務の遂行及び体制の強化
- (7) 県内各行政機関との連携強化による公的業務への協力推進、神奈川建築コンクールへの協力
- (8) 建築関係団体（公共・公益等の団体）及び教育機関との連携、協調の推進
- (9) 要望・陳情の実施
- (10) 県民に対する建築士事務所の役割のPR等事業の推進及び広報活動の充実
- (11) 苦情相談業務の実施及び調査鑑定業務の支援
- (12) 新耐震グレーゾーン木造住宅耐震化促進に関する補助事業への取組強化
- (13) 神奈川県建築会議への協力
- (14) BIMをはじめとした設計技術の普及、啓発

7. 設立50周年記念事業の実施

- (1) 記念式典の実施
- (2) 記念事業の実施
- (3) 記念誌の発行

8. 事務局の移転（事業継続性の確保）

- ・耐震性の高い建物へ移転し、BCP対応を図る